

宮崎県での口蹄疫発生に対する本県の対応について

【要旨】平成22年4月20日(火)に宮崎県で発生した口蹄疫が拡大していることを踏まえ、本県におけるこれまでの防疫対策の取組みと今後の対策について、お知らせします。

1 宮崎県での口蹄疫の発生状況

宮崎県での口蹄疫は、4月20日(火)に、児湯郡都農町で確認されて以来、5月23日(日)までに、川南町、えびの市、高鍋町、新富町、西都市、木城町の2市5町の193農場に拡大し、牛、豚等合わせて約14万1千頭が殺処分されることとなっている。

2 これまで本県が行ってきた口蹄疫の防疫対策等

(1) 九州地方からの導入牛の臨床検査(本県独自)

4月20日(火)発生後直ちに、九州地方から3月以降に本県に導入された牛405頭について、家畜保健衛生所が立入検査を実施。25日(日)に再度、全頭を検査。

全頭、異常がないことを確認。(豚は、九州から本県への導入はない。)

(2) 牛・豚等の偶蹄類家畜の飼養者についての聞き取り調査(全国一斉)

4月21日(水)~23日(金)に、県内で飼養されている偶蹄類家畜(牛、豚、めん羊、山羊、シカなど)飼養者全てを対象に、電話で聞き取り調査を実施。

全頭、異常がないことを確認(牛14万頭、豚41万頭、他700頭)。

(3) 家畜飼養者等に対する注意喚起

4月20日(火)に、家畜飼養者、関係機関・団体に対し、口蹄疫の発生予防に向けての注意喚起を実施。また、宮崎県での続発を受けて、30日(金)に再度、注意喚起。

ヒト・車両の消毒など、飼養衛生管理の遵守

異常発生時における家畜保健衛生所への速やかな連絡の徹底

家畜市場、観光農場での消毒の徹底

発生地域からの家畜導入と発生地域への不要不急な移動の自粛

(全国一斉)

(本県独自)

(4) ヒトへの安全性の周知

4月20日(火)に、県ホームページにおいて、「口蹄疫がヒトに感染しないこと、仮に感染した牛・豚の肉や牛乳を摂取しても人体への影響はないこと」を周知。

(5) 関係機関との情報共有のための「岩手県口蹄疫対策連絡会議」の開催

日時等：5月21日(金)、岩手県産業会館 7階大ホール(盛岡市)

参集者：市町村、農協、畜産関係団体、観光牧場、県等

協議連絡事項

ア これまでの本県の防疫対策

イ 口蹄疫の早期発見と農場における衛生管理の徹底

3 今後の対策

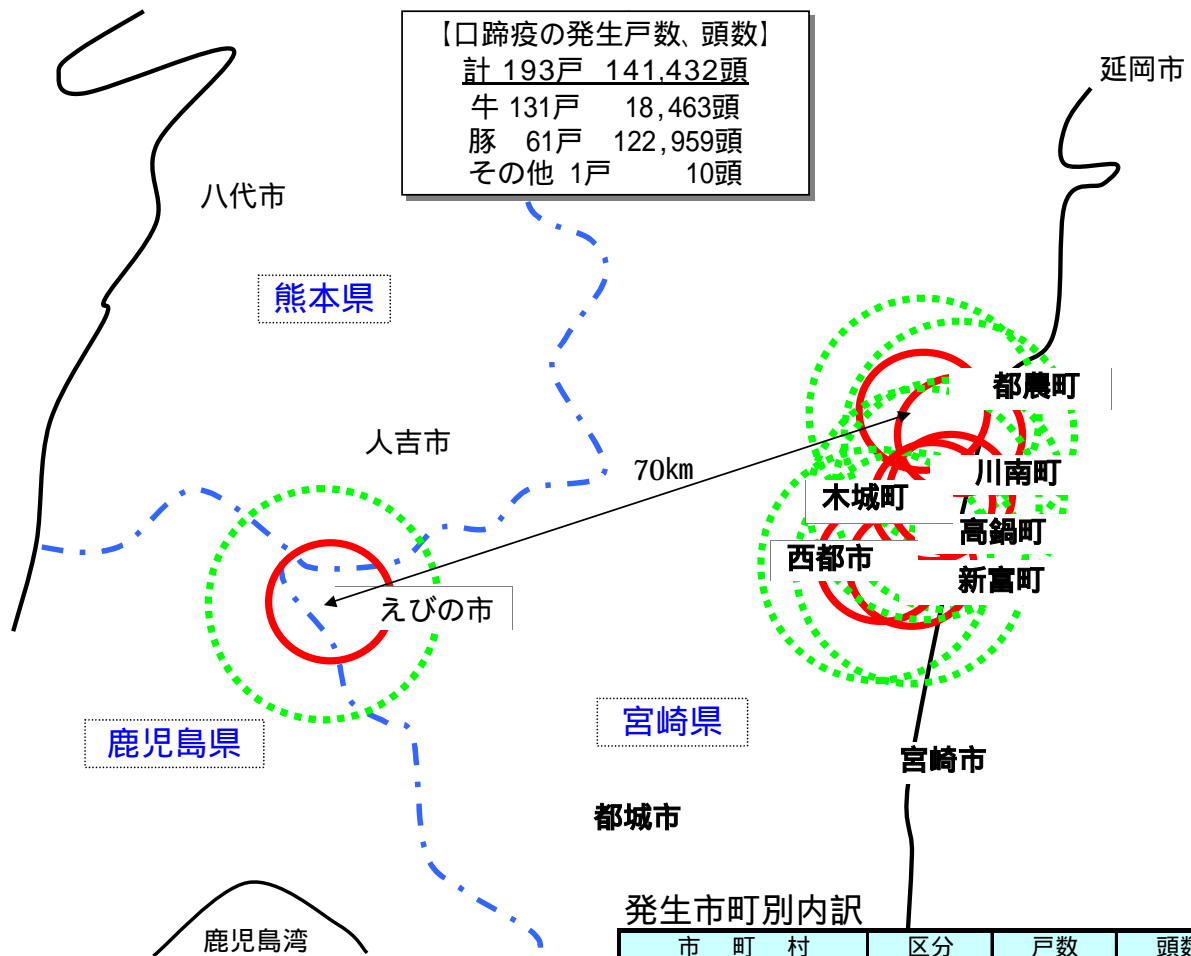
これまでの防疫対策（2の ）に加えて、防疫対策の万全を期すため、
消毒薬の全戸配布。

農場に出入りするヒト・車両、家畜の観察を記録した「飼養管理日誌」の記帳の徹底。

九州地域から導入される家畜の導入時と導入後2週間目に、臨床検査を実施。

（口蹄疫の発生後、九州からの家畜の導入はない。）

宮崎県における口蹄疫の発生状況（平成22年5月23日（日）現在）



発生市町別内訳

市 町 村	区分	戸数	頭数
川 南 町	牛	94	8,336
	豚	58	117,896
	山羊	1	2
都 農 町	牛	10	725
	豚	(1)	2
高 鍋 町	牛	11	5,496
	豚	2	4,741
新 富 町	牛	8	2,056
木 城 町	牛	2	1,153
	豚	0	0
西 都 市	牛	3	358
	羊	(1)	8
え び の 市	牛	3	339
	豚	1	320
合 計	牛	131	18,463
	豚	61	122,959
	山羊・羊	1	10

資料: 農林水産省

注) 戸数のうち()書きは、牛の飼育農家と重複

【担当】 畜産課 千葉健市、藤原洋（内線 5722、5726）